

## 「鬼怒川ふれあい道路」要望書概略

県内幹線道路網の整備は、当地域の経済活動、広域的連携の活性化、発展の上で欠く事のできない社会資本である。つくばエクスプレスが開業し、平成 26 年度以降の首都圏中央連絡自動車道の県内全区間開通予定が見込まれる中、当地域については、今後ますます人や物の交流が盛んになると予想される。

しかし、鬼怒川の西部地域は、南北に縦貫する幹線道路が未整備なことから、円滑な交通を阻害するとともに、地域の発展を妨げている状況である。

この現状に対応するためには、「主要地方道つくば野田線から以北の筑西幹線道路方面とを結ぶ広域的幹線道路としての南北軸の整備」、いわゆる「鬼怒川ふれあい道路」の整備が大きな課題であるため、以下の各項の実現を要望する。

- ・ 主要地方道取手豊岡線より以北、国道 3 4 5 号線までの区間を、都市計画道路、鹿小路細野線合併市町村幹線道路緊急支援事業の供用開始に合わせ、早期整備を図ること。
- ・ 国道 1 2 5 号線との交差点部の早期整備を図ること。
- ・ 県道高崎坂東線バイパス（古間木～国生）の早期整備を図ること。
- ・ 道路整備を計画的かつ重点的に推進するため、所要の道路整備費の確保を図ること。

## 「国道296号常総バイパス」要望書概略

千葉県柏市を起点に茨城県南西部を通り、栃木県を経て福島県会津若松市へ至る国道294号線は、本県部分の総延長が約58Kmで、国道6号、常磐自動車道、国道354号、国道125号、国道50号等と接続する県内外の経済活動、広域連携等を推進する上で重要な役割を担う道路である。

現在、拡張工事が鋭意進められているが、交通量の増大、拡張整備工事中による車線減少により、随所に渋滞が生じており地域経済活動等に悪影響を及ぼす事態になりかねない。

さらに、先の大震災被災地への震災復興、国道125号線交差点付近の大規模店舗立地、平成26年度以降県内全区間開通予定の首都圏中央自動車道（仮称）水海道ICが供用開始されることによる交通量の増大等が懸念される。この様な状況に対応するために以下の各項の実現を要望する。

- ・下妻市大園木地先一級河川「八間堀川」に懸かる鯨橋の早期四車線化整備を要望するとともに、国道125号以南から首都圏中央連絡自動車道関連区間までの四車線化未整備区間の早期整備を図ること。
- ・「国道294号常総バイパス」は、真に必要な道路であり、整備促進を積極的に図ること。
- ・道路整備を計画的かつ重点的に推進するため、所要の道路整備費の確保を図ること。